

荘銀かねやま絆の森

株式会社荘内銀行

フィデアグループSDGs宣言



- フィデアグループは、国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨に賛同し、地域課題の解決に向けた取り組みを通じて、地域社会の持続的な発展を目指します。
- フィデアグループの役職員全員が、地域と向き合い次代につなぐ取り組みを主体的に実践し、SDGsの達成に取り組めます。

重点的に取り組む事項

1. 地域経済の持続的な成長への取り組み

地域やお取引先に寄り添い、その課題やニーズにお応えする取り組みを通じて、地域経済の持続的な成長に貢献します。



2. 持続可能な地域環境の実現

環境に配慮した経営の実践を通じて地球温暖化や気候変動に対応し、持続可能な地域環境の実現に貢献します。



3. 従業員が能力を発揮できる魅力ある職場づくり

全ての従業員の能力を生かす職場環境を整備し、働きがいや従業員満足の向上に取り組めます。



荘銀かねやま絆の森 3カ年計画

所在地 金山町大字金山地内 面積：49.65ha
 協定期間 第3期 2020年4月1日～2023年3月31日
 協定者 荘内銀行、三英クラフト、山形県、金山町
 活動内容 荘内銀行は、二酸化炭素の吸収源確保や生物多様性の保全、環境教育の実践と参加者相互のコミュニケーション活性化を目的に、金山町で森づくり活動を展開しています。協定者が連携し、これまで植林、下刈り、裾枝打ち・つる切りなどの保育活動のほか、自然観察体験、林産資源活用体験、木工クラフト体験、再生エネルギー勉強会など、森に関わる様々な体験活動を行い、森林の保全や活用に関する重要性について理解を深めてきました。引き続き森づくり活動を継続するとともに、第3期はSDGsの実践の拠点と位置づけ、持続可能な社会の実現に向けて、森づくりを起点とした地域活性化に貢献します。

年次	活動計画概要	内容
2020年度	・下刈り体験(触) ・SDGsワークショップ(知)	・新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送り
2021年度	・裾枝打ちつる切り体験(触) ・SDGsワークショップ(知)	・「裾枝打ちつる切り体験」は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送り ・SDGsをテーマにしたワークショップを実施
2022年度	・下刈り体験(触) ・生育状況調査とSDGs(知) ・活動報告会	・荘銀絆の森での下刈り体験 ・生育状況調査と結果を受けたSDGsへの学び ・活動内容について金山町民への報告機会

これまでの活動実績



絆の森開山式



裾枝打ち作業



遊歩道ウッドチップ敷設



再生可能エネルギー勉強会



植樹時の杉苗



下刈り作業



間伐作業見学



木工クラフト体験

SDGs啓発事業

「フィデアグループSDGs宣言」の実践の一環として、現地での森づくり活動に加え、SDGsをテーマとした啓発事業にも取り組んでおり、役職員向けにオンラインセミナーを実施したほか、SDGsに関するワークショップを開催するなど、SDGsの理解を深め、目標達成に向け主体的に取り組む風土づくりを行っています。

11月に開催した従業員向けワークショップ「SDGsアウトサイドイン・カードゲーム」では、CSRインテグレーションの今田裕美さんを講師に招き、参加者は製造業や飲食業、金融など10社の業種になりきり、新規事業を創造・拡大することで社会課題を解決しながら、企業として成長していく過程をシミュレーション。社会に価値を生み出す新規ビジネスを創出するとともに、その事業を最大化することを通して、社会課題を解決すること(=アウトサイド・イン)を体験し学びました。

